

議会だより

【特集】住民と議会との懇談会レポート



＜表紙＞西郷中学校のみなさん／体育祭の様子

【特集】住民と議会との懇談会レポート ...	P1
6 月定例会・第 3 回臨時会報告	P3
総務教育民生常任委員会報告	P5
産業建設常任委員会報告	P6

総括質疑	P7
討論	P8
6 月定例会議案と採決.....	P9
一般質問	P10

五箇生涯学習センター

空き家活用

- ✓ 今後増えていく空き家のうち、使えるものを活用していきたい
- ✓ 空き家バンクに登録したくても、荷物整理や家の状態、場所の問題がある

移住者向け住宅・お試し住宅

- ✓ 短期滞在できる住宅は移住者にとって必要
- ✓ のぎのびハウス以外にも、移住希望者向けのお試し住宅が各地域に必要ではないか

キャッシュレス還元事業

- ✓ 制度のわかりにくさや公平性への疑問
急にキャッシュレス化へ進められた印象があり、高齢者やカードを持たない人が使いにくい
- ✓ 福祉対策として、よりアナログな支給方法も検討できたのではないか



中出張所

西郷港周辺まちづくり・海の見える交流館

- ✓ 計画がどのように進んでいるのか分かりにくく、全体像がつかめない
- ✓ 周辺に既存施設がある中で、新たな施設を建設する必要性が説明されていない
- ✓ 将来の維持管理、修繕、運営費まで含めて検討されているのか疑問
- ✓ 観光客向けでなく、地域産品や漁業、観光体験につなげる使い方を
- ✓ 住民、高齢者、事業者、フェリー利用者の動線配慮と、駐車場整備を



西郷だけでなく、周辺地域の活性化も必要

- ✓ 家でいえば玄関だけをきれいにし、中が片付いていないような状態ではないか
- ✓ 中村地区にも漁業、海産物、自然、歴史、文化などの資源があり、地域ごとのまちづくりが必要

学校統廃合と地域振興

- ✓ 学校統廃合について、子どもの数だけで判断してよいのか
- ✓ 統廃合前に話が進んでいるが、地域振興と子育て環境を一体的に考えるべき
- ✓ 学校統廃合により歳出削減はできるが、教職員らの雇用が失われ、交付税が減られるなど、地域経済の衰退を招くのでは

医療・診療所のこと

- ✓ 隠岐病院には一定の設備が整っているが、それらを扱う人材や専門職が不足している
- ✓ 離島医療は単なる赤字事業ではなく、住民の命と安心を守るための投資ととらえるべき
- ✓ 出産には産婦人科医だけでなく、麻酔科医、小児科医、助産師、看護師などが必要であり、人員体制の確保が課題
- ✓ 町部住民が隠岐病院を「かかりつけ医」のように頼る一方で、周辺部では診療所が一次医療を担っている

高齢者が豊かに暮らせる地域づくり

- ✓ 高齢者が地域で役割を持ち、地域の活力維持や若者の帰郷にもつながる地域づくりを

各会場で出たご意見で、重複したものはまとめていただきました

みんなの声で、もっと住みやすいまちへ

住民と議会との懇談会

5月30日に、住民と議会との懇談会を4会場で開催しました。40名を超える町民の皆さまに参加していただき、ありがとうございました。町民の皆さまからいただいた声を今後の議会活動や政策提言に活かして参ります。

各会場のご意見の一部をご紹介します



隠岐島文化会館

町内の道路・側溝・草刈りなどの環境整備

- ✓ 町内の道路沿いや側溝、草刈りなどの維持管理が十分でない
- ✓ 民家が少ない場所や空き家周辺は草木や落ち葉が放置されている
- ✓ 落ち葉や土砂が詰まり、本来の排水機能を果たしていない

佐々木家住宅の公開時期短縮と文化財活用

- ✓ 今年度から水・日曜の午前中だけの公開となり、観光客が訪れる機会が大幅に減っている
- ✓ 重要文化財として日常的に風を通し、管理することも重要



有人国境離島の期限延長と制度活用

- ✓ 島民の多くが、なぜ島民の運賃が安くなっているのか、知らないのでは？
- ✓ 制度の延長に向けた町や議会の取り組みを！

竹林の荒廃と竹炭活用

- ✓ 個人が所有する山林では、所有者だけで管理することが困難になってきている
- ✓ 竹を資源と考え、竹炭にして活用するなど、検討できるのではないか



本年7月8日の参議院本会議で有人国境離島法の改正法が成立し、2037年3月末まで支援策が延長されました。

岬町集会所

空港周辺道路関連

- ✓ 西郷大橋までのセンターラインが消えている
- ✓ いさり火ラインが雑木で海が見えなくなった

障がい者の方々への行政支援

- ✓ 手話関連の資格取得に町の支援を
- ✓ 手話通訳者が町内にいないなど、町の対応が不十分
- ✓ あいサポート、福祉に優しい町をみんなで

観光客レンタカーの道迷い問題

- ✓ ナビが通行困難な道を案内し、レスキューされる事例が散見され、案内看板などで注意喚起を

地域振興職員派遣制度

- ✓ 困りごとを解決する制度のはずが、手続きが煩雑で本末転倒になっている



◇議案

○工事請負契約

- ◆令和8年度社交金 西郷88号線道路改良(その3)工事
契約の相手 (株)渡辺工務店 契約金額 5,687万円
- ◆令和8年度港整備交付金 西村港防波堤改良工事
契約の相手 (株)金田建設 契約金額 8,195万円
- ◆令和8年度港整備交付金 卯敷港船揚場改修工事
契約の相手 徳畑建設(株) 契約金額 1億4,410万円

○物品購入契約

- ◆小型動力ポンプ付き軽四輪駆動消防車2台購入
契約の相手 (株)吉谷 契約金額 1,672万円
配置予定先:第5方面隊(蛸木班、森・砂子谷班)



西町側から西郷小学校への通学路



小型動力ポンプ付き
軽四輪駆動消防車購入

皆さまからの請願・陳情・要望など

区分	件名	提出者	結果
陳情	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業注視の意見書提出を求める陳情書	千葉県旭市後草1967-32 宇井 淳	配布
請願	請願第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書を政府に提出することを求める請願	隠岐の島町下西78番地2 隠岐の島町職員組合 執行委員長 大上 達也 紹介議員 高宮 陽一	採択

「海に見える交流館」建設へ、残された住民説明の課題

西郷港周辺まちづくり事業議案、4議員による賛否の討論を経て可決

今定例会では、本町の顔となる西郷港周辺の整備に関して、「海に見える交流館」の建設に伴う高額な工事請負契約議案が提出されました。

議場では、これからのまちづくりを左右する本事業そのものは是非に加え、町が住民からの説明を求める声に応じなかった姿勢が大きな争点となり、4名の議員が登壇して白熱した賛否の討論が交わされました。

議案は討論を経て可決されたものの、今後の事業推進にあたっては、残された住民説明の課題にどう向き合っていくかが厳しく問われています。(討論の詳細は8ページをご覧ください。)

・海に見える交流館の整備

交流館の建築工事(4億4110万円)および機械設備工事(5445万円)の請負契約の議案を可決しました。
契約の相手 (有)門脇工務店

・都市再生整備事業

まちづくり事業に必要な用地取得費・建物補償費ほか広場整備・スライブリッジ撤去費、避難路兼通学路整備工事費、周辺広場詳細設計費、システム開発費等の2億7782万円の予算を追加補正するものです。

◎暮らしに関わる条例の改正

○印鑑登録に関する条例の改正

窓口で印鑑登録証を持参しなくても、マイナンバーカードを提示することで印鑑登録証明書が取得できるよう、条例が改正されました。

(※マイナンバーカードの利用には暗証番号が必要です。)

○放課後児童クラブ条例の改正

物価高騰による各児童クラブの食材費負担増に伴い、保護者の皆様に負担いただく給食費も1日当り300円が400円に改正されました。

○町税条例の改正

法改正に伴い、個人町民税の申告手続きの見直しや、軽自動車税の環境性能割廃止、固定資産税の免税点引き上げなどに関する規定が改められました。



委員会に付託された案件のうち、一般会計補正予算（第1号）の、都市計画整備事業に議論が集中し、賛成多数となり、その他は全会一致で「可決すべし」とした。

委員会に付託された案件は、すべて全会一致で「可決すべし」とした。請願第3号は、全会一致で「採択すべし」とした。

審査の状況

■ 隠岐の島町印鑑条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの提示により印鑑登録証明書が取得できるようになるもの。担当課からは「マイナンバーカードを使う場合は暗証番号が必要になり、基本となるのは印鑑登録証なので絶対に捨てないように」という説明があった。

■ 隠岐の島町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

物価高騰により放課後児童クラブの食材費の負担が増えており、給食費の保護者負担を日額300円から400円に増額するものである。委員会としては、義務的なものではないことから受益者負担の考え方に基づき了承した。

■ 物品購入契約の締結「学習者用タブレット端末購入」

現在、小中学校で使

請願の審査

■ 請願第3号

地方財政の充実・強化に関する意見書を政府等に提出する事を求める請願

請願の概要は、2027年度地方財政予算全体の安定確保にむけ、政府に対し意見書を提出するよう求める内容である。地方財政の安定確立は急務で、全会一致で「採択すべし」とした。

所管の調査事項

■ 隠岐の島町立小中学校教育環境基本計画

担当課から「町立小中学校教育環境基本計画」策定委員会の開催状況と「町立小中学校のあり方に関するアンケート」の集計結果の報告があった。

委員会からは「アンケートの結果の自由記述欄にある意見や島後小中学校校長会から提出されている意見書な

ども参考にして計画を作るべきである」との意見があった。

■ 「特別養護老人ホーム鳴澤の里」の一部養護老人ホーム化

社会福祉法人高田会が運営する「特別養護老人ホーム鳴澤の里」及び併設する「短期入所施設」の空床と収支の改善のために、今年6月1日から施設の一部を養護老人ホームに用途変更するとの報告が担当課よりあった。

委員会からは「本町にとって必要な施設であり町としても必要な支援を行い経営改善に努力してもらいたい」との意見があった。

■ 旧老人会館及び周辺町有地無償譲渡の現況

西町の旧老人会館及び周辺地は、保育園の移設計画をしている隠岐共生学園に無償譲渡することになっているが、敷地内の石碑、看板、紅梅を住民の同意を得て近くの町有地に移設する計画が担当課

より報告された。

■ 窓口受付時間短縮試行の変更

業務の効率化や職員の間外勤務の削減の一環として窓口業務の受付時間を8月3日から令和9年1月末まで9時〜午後4時半とする試行の提案である。

■ 島根かみあり国スポPRポロシャツ等

島根かみあり国スポの機運醸成活動としてPRポロシャツの作成販売等について担当課より提案があった。



国スポPRポロシャツ

審査の状況

■ 隠岐ポートプラザ

2階改修工事（2期）

1億1990万円

海側スペースを改修する工事で（株）吉崎工務店と契約を結ぶものである。工事内容は内装改修と海側の外壁面の一部を開口し、景観が見えるようにする計画である。

委員からは「隠岐ポートプラザの指定管理者と交流館の運営予定者が同じ事業者であるため、両施設の事業展開など、町民に示す必要がある」との指摘があった。



2F壁面の開口予定のホテルと撤去予定のスカイブリッジ

担当課からは「改修済みの部分は音楽を主に扱う施設として活用する。今回改修する海側スペースは、コワーキングスペース等としての活用を想定している。周辺施設との連携や活用方法を検討していく」との説明であった。

■ 都市再生整備事業

2億7781万円

令和7年度は国予算が減額となったが、事業の一部を「地域未来交付金」へ移行できたことで、交流館周辺の用地取得・補償費の増額、中町ポケットパークや記念碑広場、ポートプラザ前広場の詳細設計、商流システム開発、大城山避難路整備、スカイブリッジ撤去などを追加補正した。

委員からは交流館と隠岐ポートプラザの所管課が異なるため連携状況を問う質問があり、担当課からは運営予定者との協議を進

め、両施設の連携を早期に進めると説明があった。

委員会では「施設を建てるのが目的ではなく、長期的ににぎわいと人の流れを生み出す運営が重要である。関係者を交えた協議を早期に開始すべき」と指摘した。

■ 海の見える交流館建築工事・機械設備工事請負契約の締結

指名競争入札が不落となり、最低価格入札者である（有）門脇工務店との協議により随意契約となった。不落の要因としては、資材高騰や調達難が要因とされ、委員からは物価高騰が続く場合の対応を問う質問があった。

担当課は県準拠のガイドラインに加え、工期確保や請負額調整に関する特記事項を設けているとの回答であった。

委員会からは、世界情勢の不安定さも踏ま

え、柔軟な対応をするよう指摘した。

■ 離島甲子園事業

522万円

全国離島中学生野球大会開催費は、参加選手等の島内移動に使用する貸切バス料金関係の追加補正について説明があった。福島県での事故を受け、安全確保の観点から本土から大型・中型・マイクロバス計6台を追加し、乗務員派遣も必要となった。

委員からは参加自治体への追加負担の可能性が問われたが、担当課は既に参加費を値上げしており、追加負担は求めない方針を示した。

委員会からは「離島甲子園は自治体負担も軽くなく、参加を見送る自治体も目立ってきている。今後の大会の在り方を関係自治体と協議する必要があるのではないか」と指摘した。

所管の調査事項

西郷港周辺まちづくりは、住民からの請願・意見書提出を受け、丁寧な説明と進捗報告を求める附帯決議を付して予算を認めた経緯がある。その後担当課からは、附帯決議を受け、地域住民や協議会、連絡会などと意見交換を行い、計画の一部変更を行ったなど、委員会への報告があったが、日程が合わないこと、

これまでに各町内の住民との意見交換をしてきたことなどを理由に出席を断ったことが問題となった。

委員会としては、住民の申し出に対し対応しないのは附帯決議に反し極めて遺憾であり、地域との関係性や今後の事業に支障を来すことが懸念されるため、町長・副町長とも協議し、改善するよう強く指摘した。

討論

議案などに対して、賛成または反対の立場から自己の意見を述べ、他の議員の賛同を得ようとする議会の制度です。単なる意見表明ではなく、論理的な理由を挙げて議決の方向性を促す、議会運営における重要なプロセスです。

反対 村上 一議員
本契約の締結は「海の見える交流館」建築に関わるものであり、3月定例会で採択された「附帯決議」と「請願書」に基づき賛否を判断した。担当課は、18回の住民説明会を実施し、約9割の方から賛同が得られたと言いが、中町町内会連合会から要請のあった懇話会については参加を断っている。このことは「附帯決議」にある「地域住民に対し十分かつ丁寧な説明を行うこと」に反することだ。どんな形であれ、住民から要請があれば日時の変更も含めて参加を最大限努力するというのが町の姿勢であるべきで、3月議会に請願書を提出した「中町町内会連合会」からの要請であればなおさらである。このまま、計画を進

反対 高宮陽一議員
池田町長は、今議会の洋上風力の一般質問でも「合意形成が十分進んでいない時点においては具体的な見解を申し上げる段階にない」と答弁している。更に、日頃から「町民の皆さんとの協働のまちづくり」を進めると言っておられるが、西郷港周辺まちづくり事業では、「言っていること」と「やっていること」は、ほど遠い。大社通りが計画変更となったことで、もはや、この計画は破綻していると言っても過言ではない。このまま工事を着工すれば基礎工事が始まってしまふ。今後、引き続き、道路幅員の課題や公園整備など、各種の事業を実施するためには、交流館の存在が障害となる恐れにも繋がる。町民との対話の先送り行政への不信感を招き地域住民との信頼関係も

崩壊する。町民が二分されているような状況の中で事業を遂行することは、住民福祉サービスの向上を目的としている地方自治体としてあってはならない。着工を一時中断して住民の皆さんとの対話を繰り返し理解を得ること、その間に設計変更を検討すべきである。町長、英断するのは今しかない。

賛成 松山 貢議員
本議案審査における私の基本姿勢は建築コンサル実務と同様、法の場での判断ならどうか、との意識である。現段階で注力すべきは今後のあり方、進め方、未来である。島びと自身の意志は葛藤の中にも覚悟、判断され進んできた事実であり、移転、明渡し等人生設計の変更をしてまで導かれた現在がある。行政は子供達から得られた自然環境のことをまちづくりに反映させ教育現場としての取り組みも実施している。我々は「自然と子

供達を育む使命」がある。悠久なる自然と街の一体化、調和である。今日現在、議会は最大公約数、最適解を導く最前線に立ち、本議案の採決は島の将来を大きく左右する重大事項。歴史的変動の真つ最中でありこの採決は我々現役世代の仕事であり責任の取り方である。よって本議案に賛成する。

賛成 脇田千代志議員
町執行部が議会の附帯決議に反し懇話会を欠席した対応は遺憾であり猛省を促す。しかし事業の遅延は受注業者への迷惑や国の信用失墜を招き、交流館に期待する子ども達をも裏切る等を含め損失は計り知れない。今後は住民の信頼を失わぬよう理解と協力を得る最善の努力を怠らないことを強く条件として添え賛成する。

反対 村上 一議員
一般会計補正予算の「都市再生整備事業」に約2億7千万円が計上されているが、「海の見える交流館」に関わるものもあり、工事請負契約と同じ理由から反対する。

反対 山田浩太議員
西郷港周辺まちづくりは、町民の理解と信頼があつてこそ進められるものである。しかし今回、新たに計上された商流システム開発事業500万円は、成果物の定義やプロポーザルの要求水準、審査基準、費用の内訳が明確でなく、何を、誰が、どこまでつくるのが見えない。交流館の建築や設計、用地取得など多くの事業が並行する中で、さらに新たなコンサルタントを入れ、地域経済の仕組みをこれから考える進め方には賛同できない。今一度事業の進め方を根本から整理し、交流館の運営予定者、地域の生産者・事業者、関係課

議員はここに**着目**した！

提出議案
に対する

総括質疑

YouTubeで
録画視聴できます



「総括質疑(そうかつしつぎ)」は、主に条例や予算を審議する際に数字や事業の妥当性をチェックする質疑です。

交流館詳細設計及び
用地測量の補正は

高宮陽一議員

議員 何故この時期の補正となったのか。

都市計画課長 交流館周辺の中央広場の詳細設計と用地測量の費用であり、資料に中央広場という表記をしていなかったため誤解を与えた。

議員 測量の結果はどうだったのか。

都市計画課長 調査を実施中だが1m50cm位で海水の水面が出てくることや地下約15m位に強い支持地盤があることが分かつているが現在も調査中である。

議員 ①地域住民へ説明会をして理解が得られたか、②計画見直しも検討したか、③所管の産業建設常任委員会と情報共有出来たか。

都市計画課長 ①地域住民や関係団体の皆さんに説明・報告・協議し更にアンケート調査結

果等も参考にしている。

②交流館周辺の道路の計画は現計画どおり進めると判断している。③交流館の入札も終わっているが、常任委員会との情報共有はできているものと判断している。

学習者用タブレット
端末購入は

西尾幸太郎議員

議員 納入期限が9月30日となっているが、学校現場で新しい端末を使うスケジュールは。

総務学校教育課長 年度内は先生方に新しい端末の使い方を覚えてもらい、新年度から児童生徒が使用する予定である。

議員 他の自治体では、入れ替え後の旧端末を子育て世帯に払い下げたり、公民館や図書館などで活用する事例がある。町内の福祉事業所などでもタブレット端末の需要があるとも聞く。旧端末の活用をどのように考えるか。

ているか。

総務学校教育課長 まずは教育委員会部局内での活用を予定しているが、町内のニーズを把握するためにも関係課と協議し、活用について検討をする。



旧端末の有効活用を！

放課後児童クラブ
条例の改正は

脇田千代志議員

議員 なぜこの時期の改正となったか。

保健福祉課長 議案の手続きが遅れてしまったため。

議員 料金の改定が公共料金等審議会に諮っ

たものでなければ値上げの根拠を示されたい。

保健福祉課長 公立保育所給食費の7年度実績から算定した。

議員 額改定の周知について3月に町のホームページでお知らせした時点で議会に説明したか。

保健福祉課長 議会への説明は怠っていた。保護者には3月末に7月に改定予定であることをお知らせしていた。

議員 学校給食費等の無償化の時代に不均衡では、今後条例の見直しはあるか。

保健福祉課長 学校給食費のように全員が対象ではなく制度の見直しは考えていない。

都市再生整備事業
補正予算は

村上 一議員

議員 都市再生整備事業について2億円以上の多額な補正予算が計上されているが、その理由は。

都市計画課長 3月の予算策定時には国の予算が決まっておらず少ない配分での当初予算を組んでいた。国に要望していた予算が通ったので今回補正予算として新たに計上した。

議員 海の見える交流施設について地域住民との意見交換会を18回実施したとのことだが、6月13日に中町町内会連合会が開催した懇話会に町が参加しなかった理由は。

都市計画課長 理由は3点あった。まず18回の意見交換会で理解を得てきており、一つのプロセスが完了したということ。2点目としては、公平性と透明性という点で公開による開かれた場とは判断できなかったということ。3点目としては、町への正式な案内文が届く前に町民の方に回覧されており調整ができなかったということである。

町政をただす！ 一般質問

町長 …町長 教育長 …教育長 担当課長 …担当課長 質問 …議員質問

「一般質問(いっぱんしつもん)」は、議員が自由にテーマを設定し、町政に対して提案・追及する質問です。

＼YouTubeで全編公開中／

紙面上、質問と答弁は要約した内容になっています。
QRコードからYouTubeにて視聴できます。



の役割分担を明確にし、町民への説明を重ねる必要がある。まちづくりにはハードとソフトの両方が必要である。だからこそ、理解と信頼を置き去りにしてはならない。以上の理由により、本補正予算の都市再生整備事業に反対する。

賛成 脇田千代志議員
本補正予算の大半は、公共のために土地等を提供された地権者への用地取得費や建物補償費であり、地権者の不安を一日も早く取り除くことは行政の責務である。また、町民の命と安全に直結する避難路兼通学路の整備など極めて公共性の高い取り組みが含まれる。業務を遅滞なく進めるため本予算の確保と執行は不可欠であり賛成する。

賛成 松山 貢議員
本予算はまちづくりに関わる国交付金を含んでおり、審査には極めてシビアな判断を要する。否決した場合「国からの予算を執行できない自治体」と判定が下され、予測不可能な事態を招く。今後、町が国に要望する国交付金等の採択への悪影響は計り知れず、島の明日に、未来に、島自身に多大な損失を招く。まちづくり、再生の事、教育の事、自然の事を愛し育むため、本議案に賛成する事を強く主張する。

放課後児童クラブ 条例改正

反対 脇田千代志議員
食料費高騰による給食費値上げのシワ寄せを、全額保護者負担とする方針には疑問である。本事業は10割負担であり、他の子育て無償化施策との不均衡感や子育て罰のような受け止め方もある。高齢者福祉事業では赤字分を公費補填しており、少子化対策の要として町が公費で補填するなど「子育てに優しい町」の仕組みづくりを検討すべきであり反対する。

6月定例会及び第3回臨時会 審査結果

賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対

	結果	松山	村上	西村	脇田	山田	牧野	齋藤	村上謙	菊地	西尾	安部	前田	石田	高宮
放課後児童クラブ条例の改正	賛多	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	-	○	○	○
(仮称)海の見える交流館建築工事 請負契約の締結	賛多	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	×
(仮称)海の見える交流館機械設備工事 請負契約の締結	賛多	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	×
令和8年度一般会計補正予算(第1号)	賛多	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○

(注) 議長は賛否表明には参加しません。賛否同数の場合のみ、議長採決として、表明します。

質問 平和と憲法と地方自治法の精神に基づき、町民の暮らしと命を守る町長の決意は。

町長 我が国の平和と繁栄は、戦禍の中で尊い命を捧げられた多くの方々の犠牲のうえに築き上げられたものであり、命の尊さや平和の大切さを永遠に語り継いでいくことが我々の責務である。恒久平和を願う地方自治法の趣旨にのっとり、町政運営を行っていく。

Q 平和について決意は

A 恒久平和を願う子どもたちに伝える



質問 アンケートは答えにくかったという声

Q 小中学校教育環境基本計画をどう作るか

A アンケート結果や住民説明会の意見を参考に作る

質問 今回、1学級の適正規模人数を小学校20人、中学校25人としているが、10年前は小中学校とも10人程度としていたように、人数であっても良い教育ができると思うが。

教育長 少人数であっても個別最適な学びはできる。単に人数だけを捉えて議論すべきではなく、10年前の予想を超える少子化を迎えており、一定規模以上の集団の確保も、今後の課題と考えている。

質問 小中学校の適正規模についての認識は

A 単に人数だけの問題ではない

隠岐の島町立小中学校のあり方に関する検討結果
(令和7年3月)

小中学校の適正な規模・配置

小学校	令和13年度目標
1学級あたりの人数	20人以上
2校(西郷小学校、島の中心部に新設小学校)	
中学校	令和11年度目標
1学級あたりの人数	25人以上
2校(西郷中学校、西郷南中学校を活用した新設中学校)	

を聞く。数字だけでなく記述式の回答や子供へのアンケート結果も含めて考慮すべき。

教育長 アンケートの記述はもちろん住民説明会での意見も踏まえて計画の策定にあたる。

質問 子供の健やかな成長と学校、地域、町全体の発展をどのように捉え、小中学校教育環境基本計画をどのように作るか。

町長 小規模校、大規模校どちらにもメリットデメリットがあるもので、アンケート結果や、住民説明会での意見、教職員の配置など様々な要素を考慮し、計画を作っていく。

全会一致

全会一致で可決した議案

条例	- 町税条例の改正 - 消防団員等公務災害補償条例の改正(専決) - 印鑑条例の改正	- 地区集会施設設置及び管理条例の改正 - 健康づくり推進協議会条例の改正 - 消防団員等公務災害補償条例の改正
予算	- 令和7年度一般会計補正予算(専決) - 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(専決)	- 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(専決) - 令和8年度一般会計補正予算(第2号)
契約・計画・同意	- 町道路線の認定・変更 - 油井漁港沖防波堤改良工事の契約変更 - 隠岐ポートプラザ2階改修工事(2期)の契約 - 学習者用タブレット端末の購入 - 学校給食配送車の購入 - 運動公園更新工事の契約 - 布施漁港沖防波堤改良工事の契約 - 油井漁港(蔵田地区)防砂堤ブロック製作工事の契約 - 自動車練習施設の指定管理者の指定	- 農業委員会委員の任命同意 - 地方財政の充実・強化に関する意見書を政府等に提出することを求める請願 - 有人国境離島特別措置法の延長を求める意見書の提出 - 西郷88号線道路改良(その3)工事の契約 - 西村港防波堤改良工事の契約 - 卯敷港船揚場改修工事の契約 - 小型動力ポンプ付き軽四輪駆動消防車の購入



Q 財政健全化を具現化する具体的な計画は画は

A 具体的な数値目標を示した計画は策定していない

質問 経費削減につながる業務のDX化や外部委託の推進や部門別の人員配置の見直し適正化について、今後どのようなペースで適正化を図っていくのか。また、財政健全化を具現化するための数値目標を示した、具体的な計画は作成されているのか。

町長 業務の合理化や効率化については、毎

年、予算編成方針及び予算執行方針に示し、各所属において検討を行わせている。しかし、多くの部署で従来からの業務に加え、新たな事務への対応を求められており、効率化に向けた取り組みが加速できない現状がある。人員配置の適正化は行っていくが、組織の新陳代謝を図るうえで、一定数の新規採用を図る必要があると考える。また、2030国民スポーツ大会の開催に向けた組織強化を図ることから、具体的な数値目標を示した計画は策定していない。

Q ペレット工場敷地内への太陽光発電設備導入の検討状況は

A もう少し調査して検討する

質問 検討中とされている、ペレット工場敷地内への太陽光発電設備導入の検討状況及び

発電設備の着工予定と稼働開始について伺う。

町長 太陽光発電設備の導入計画は、隠岐グリーンパワー合同会社が事業主体となり、環境省の新規エネルギーマネージメントシステムを活用した再生可能エネルギー発電設備の導入計画の中で検討されている。現在、補助事業を申請中であり、本年8月予定の事業採択の結果により、最速で今年の秋ごろからの工事着工、年度内の稼働開始を予定している。



太陽光発電計画のある、ペレット工場



Q 水道料金の基本料金を特別措置として3か月間（7月～9月）無償に

A 無償化は困難である

質問 我が町では水道料金審議会が開催され、いろいろな問題が議論されている。中東情勢の影響で、全国的に石油製品をはじめ、多くの商品が値上がりし、また、いろいろな製品が品不足になっている。離島である我が町への影響も想像以上である。物価高騰の影響が続く中、今年の夏は例年以上の猛暑が予想される

と報道されている。光熱水費の負担を軽減するためにも、一般家庭の基本料金1334円を3か月間（7月～9月）無償にすべきと考える。命と健康、そして暮らしを守るためにも、特別措置として実施すべきである。

町長 現在「上下水道事業経営審議会」において、老朽化した水道管や汚水施設の今後の更新費用、人口減少に伴う料金収入の減少など、将来にわたる厳しい経営環境を踏まえた持続可能な料金体系について、議論を重ねているところである。しかしながら、町民の暮らしを守ることは最優先課題である。水道料金そのものの無償化は困難である。国や県の動向を注視しつつ、別の形で物価高騰対策や生活支援については、引き続き検討していく。

質問 今回、基本料金の無償化の質問が出さ



池田にある水源地

れた以上、いろいろな議論されたと思われる。その中で、3か月間は無理でも、2か月間は無償化できないかという話はなかったか。

町長 課長会でいろいろな議論を行った。

質問 料金は使用した分だけ払うべきではないのか。4トン使用しているも、8トンまでの基本料金を支払う。おかしくないのか。

町長 上下水道事業経営審議会に、あらゆる方面から検討するよう指示している。



Q 人口減少が進む中、各地区集会所は維持できるのか

A 地域は住民が主体で守るべきである

質問 本町の高齢化率は40%、単身高齢者世帯の割合は29%と全国平均を大きく上回り、地域コミュニティの重要性は一層高まっている。各地区集会所は交流拠点であると同時に、防災や消火栓点検などの公共的役割も担っている。しかし、コロナ禍以降、利用は減少し、人口減少が進む中で、世帯数の少ない地区では高額な自治会費を負

担して維持している。老朽化や2027年の蛍光灯製造禁止に伴うLED化などの負担も増す。今後も住民が主体となって維持するのか、また、地区統合の可能性をどう考えるか。

町長 「集落地域活性化事業補助金」や「コミュニティ施設等整備費補助金」により支援しており、住民負担のみで維持しているとの指摘にはあたらな。地区統合については、現在は各地域の活性化や協働のまちづくりを進めている段階であり、町として統合を進める考えは持っていない。

質問 補助金の多くを維持管理費や光熱費に充当しており、LED化のような多額の費用を要する事業には使えず、住民負担となる。自治会離れや民生委員の欠員、未加入世帯の増加など、地域コミュニティの維持が困難になっている。制度の見

直しなど、行政が将来像を示す必要があるのではないかと。

町長 物価高騰対策とは別に、電気代も補助対象に含めるよう制度を改正している。また、現時点でLED化への支援の予定はない。ただし、必要性が認められれば、制度改正を検討する余地はある。地域コミュニティは守っていかなければならないが、地域は自分たちで守っていくという意識を持って頑張りたい。今後も支援は続け、相談があれば町として出向き、支援する方針である。



Q 佐々木家住宅の公開機会を増やし、柔軟に確保すべき

A 団体・学校の要望には可能な範囲で対応する

質問 国指定重要文化財の佐々木家住宅は、公開日が水曜日・日曜日の午前に短縮され、夏季休館も設けられた。年間275日程度の公開を実施していた前年度から、事業費は約72%減となる一方、過疎地域持続的発展計画では、文化関連展示施設の入込客数を令和12年度に1万人へ増やす目標を掲げる。観光・



佐々木家住宅の公開機会を増やすべき！

教育資源として、予約対応や週末、夏季午前の限定公開など、柔軟な運用が必要ではないか。

教育長 入館者数が2人以下の日が約110日あり、コストと公開日数のバランスから短縮した。休館中も、団体観光客や学校の要望には可能な範囲で対応する。夏季の午前公開は、空調がなく、管理人や来館者の熱中症リスクが高いため、現時点では困難だが、今年の運用を検証し、改善点があれば見直す。

Q 本土通院の追加負担への支援を

A 町単独の制度化は困難。国に要望を続ける

質問 島内で受けられない治療のため本土へ通院する町民は、運賃助成後の自己負担に加え、宿泊費、現地交通費、付き添い費用、休業による収入減を負う。医師の紹介による受診者や、がん・難病・小児医療などで継続通院が必要な方に対象を絞り、費用の一部を助成できないか。

町長 本土通院の経済的・時間的負担は大きいと認識している。令和5年度には、町の国保・後期高齢者医療の被保険者だけでも、松江・出雲・米子の主要医療機関への通院は2170件、入院は約710件あった。町単独の助成制度は財源上困難だが、オンライン診療の拡大を進め、全国の離島を対象とする支援制度の創設を国に要望していく。



にしむら まりこ
西村 万里子 議員

Q 早急に町道のラインの引き直しを実施すべき

A 優先順位を見極めながら計画的な補修に努める

質問 空の玄関口である隠岐空港から町内までの幹線道路にあるべき車線境界線、中央線、路肩線などは、西郷大橋までの区間でそのほとんどが消えている。白線が摩耗して視認性が悪くなり、夜間に走行する車の運転者はもとより、歩行者にとっても、路肩線が消えていると車道にはみ出し、大事故になりかねない。



早急なラインの引き直しを

人と車の安全を守るためにも、早急にラインの引き直しを実施すべきだと思うが。

町長 安全確保のためには、車線境界線や中央線の視認性確保は極めて重要であると認識している。町内には多くの幹線道路が存在しており、全ての路線で早急な区画線の引き直しを実施するのは困難な状況である。警察署などの関係機関とも連携を図り、優先順位を見極めながら計画的な補修に努めていく。

質問 9月には道路交差法が改正され、生活道路でもラインが引いていないところでは、制限速度が引き下げられるが。

町長 必要な箇所を一手で行うのは難しいが、幹線道路、一般道路にかかわらず、優先順位を見極める中で、必要な箇所から行っていきたい。

Q 町道を県道に移管すべき

A 継続して県に働きかけていく

質問 西郷大橋の補強により、空港バスなども通行している。交通量も多い幹線道路の整備を円滑に進めるため、県道にして県土整備局に管理を全て移管すべきではないか。

町長 現行の県道隠岐空港線がアクセス機能を果たしている。別ルートの認定は、道路網計画、原則認められない。利用者の皆様には管理の格差を感じさせている点について、真摯に受け止めている。本路線の幹線道路としての重要性に鑑み、適切な維持管理に努めていく。

わきた ちよし
脇田 千代志 議員



Q 中期財政計画からの警鐘への対応は

A 最悪の事態を避け健全化を目指す

質問 令和11年度に実質公債費比率が18%を超え、基金が枯渇する財政危機について、起債許可団体へ移行することへの見解と影響を問う。また、第三者機関を設置し「聖域なき行財政改革」を進める体制の構築と、住民と危機感を共有し「ピンチをチャンスに変えて」、難局を乗り越える機運を醸成する考えはあるか。

町長 大規模事業の影



基金(町の貯金)がなくなったら？

響で、実質公債費比率が18%を超える見込みであり、新規・大規模事業が困難になるため、町債の繰上償還や起債抑制で対応する。事業の見直しは既存の外部評価の仕組みを活用し、第三者機関の設置は考えていない。過去の痛みを伴う改革の経験から、将来的な負担増をお願いする可能性はあるものの、事務事業の見直しや自主財源確保により、最悪の事態を避け、財政健全化を目指す。

Q GX活用の洋上風力発電の誘致は

A 事業の是非はまだ判断していない

質問 国のGX政策を活用した浮体式洋上風力発電の誘致について、他自治体に後れを取ることによる機会損失への危機認識と、事業の主導者である町が漁業者との対話の場を設ける考えはあるか。また、深刻な財政難を乗り越えるため、同事業による新たな自主財源の獲得についての見解は。

町長 洋上風力発電の可能性や自主財源確保への期待はあるが、基幹産業である漁業との関係など、課題が多い。事業の是非を判断していない現時点では、機会損失や財源獲得に関する具体的な見解を出す段階にはない。漁業者との合意形成が最優先であり、まずは事業者が関係者と対話を重ねるべきと考えている。



さいとうのりこ
齋藤 則子 議員

Q 隠岐の島町誌編纂に着手すべき

A 町政30周年を機に編纂する予定

質問 町政20周年を2年経過した今、町誌の編纂を始めるべきではないか。人口も町村合併時から5000人減少し、社会形態も著しく変化した。小中学校は統廃合され、小規模郵便局や商店は消え、JAも隠岐支店のみとなり、開業医も減り、漁業者も減少した。山は荒れ、増えたのは休耕田や休耕畑のみ。旧村の衰退は顕著である。過去を振り返り、将来



隠岐の島町誌編纂の着手を

に向けて進むべき道を模索するためにも、町誌編纂は必須と考えるが、町長の所見を伺う。
町長 私も町誌編纂の必要性を感じており、昨年度の行政組織の検討において、町誌編纂を新規事業として所管を本年度中に決定し、令和9年4月1日から、まずは1名を配置し、対応したい。これまで隠岐の島町図書館において資料を収集してきており、町政30周年を機に、編纂を進めていく。

Q ポートプラザ6階のより有効な活用は

A 指定管理者とさらなる利用率の向上を目指す

質問 西郷港周辺を開発するのであれば、ポートプラザも含め総合的に考えるのが最も意義にかなっている。ポートプラザの6階は3、5階同様ホテルにし、フロア全体を豪華客室に改修してどうか。西郷港を眼下に望み、フェリーや高速船の往来、その他さまざまな船舶の航行が一望できるすてきな立地にある。1階部分も別の活用方法があると思うが、まずは6階だ。町長の所見を伺う。
町長 まず6階と2階を一体的に管理し、活用してもらう。1階は近隣施設の開発に合わせて、バス停としての機能も含め、検討したい。

まつやま みつぐ
松山 貢 議員



Q 自然環境資源、自然遊歩道の活用と観光・教育を含めた振興戦略は

A 自然環境を生かした観光・教育施策を講じる

質問 隠岐の自然は偉大な資源であり、センス・オブ・ワンダーの世界として比類なきポテンシャルがある。近自然工法などで整備・活用し、観光・教育を含めた自然環境振興戦略に期待する。さらに島の主体者として核心のイニシアチブを握り、コントロールする姿勢であるべきではないか。



隠岐/センスオブワンダーの島(杉の芽生え)

町長 自然を守り、経済も豊かな社会を目指す。子どもたちの発達段階に合わせた教育も実施している。トレッキングなどの環境整備を進め、自然環境を生かした観光施策を講じる。関係機関に丸投げせず、先頭に立つ役割を果たす。

Q 自然保護と教育、まちづくりの考え方・ビジョンは

A 自然の価値を継承し、時代が求める機能へ再生する

町長 まちづくりに参画する子どもたちに手応えを感じている。自然の価値の継承と時代が求める機能への再生。この二つの重なりに、次世代へ手渡せるまちの姿がある。自然の中で育ち、時代の変化への対応力を持つ子どもたちが、隠岐びととして次世代へつながること、私のまちづくりに込めた願いである。

西郷中学校 学校紹介

【学校教育目標】

創造性に富み、感性豊かで、共にたくましく生きていく生徒の育成

【目指す生徒像】

- | | |
|------------------------------------|----------|
| (1) 自ら学ぶ意欲と態度を持ち、確かな学力を身につける生徒 | 〈学力アップ〉 |
| (2) 自らより良い生き方を考えると共に、思いやりのある心を持つ生徒 | 〈ハートアップ〉 |
| (3) たくましい心と体を持ち、粘り強く取り組む生徒 | 〈体力アップ〉 |

【体育祭スローガン】

熱笑創青

実施日：6月27日(土) 場所：西郷中学校体育館



赤組集合写真



青組集合写真

議会だよりアンケートにご協力ください

隠岐の島町議会では、町民の皆さまに議会のことや町の取り組みに関心を持っていただきたく、広報改革に取り組んでいます。良かった点・悪かった点など、率直なご意見をお聞かせください。お手持ちのスマートフォンやタブレットで、右のQRコードを読み取ると、匿名でアンケートに回答することができます。



広報広聴常任委員会

委員長 山田 浩太 副委員長 西村 万里子
委員 松山 貢 村上一 脇田 千代志 高宮 陽一



YouTubeにて
「隠岐の島町議会チャンネル」公開中！



193人

現在のチャンネル登録数
(2026年7月20日現在)

編集後記
梅雨が明けたと思えば猛暑続きで今度は熱中症対策と向き合い、四季の有難さが遠い昔のように思う毎日です。
6月定例会では「海の見える交流館建築工事」をめぐる、賛成討論・反対討論が出るなど活気のある議論が展開されました。
今は8月中旬に議会広報紙を発行するため連日、広報広聴常任委員会で懸命に知恵を絞っています。
今後も、町民の皆さんが「早く読みたい」と思えるような議会広報紙を目指して委員一同頑張っています。
委員 高宮 陽一

次回定例会は **9月9日(水)開会予定** です。ぜひ傍聴へお越しください。

(日程は変更になる場合があります)